

目次

- RAG過信への警鐘
- 問1: 網羅的参照は必要か
- 問2: データは上限内か
- 問3: パターン数は何個か
- 実務への落とし込み

RAG過信への警鐘

- 自社データ=RAGは早合点
- 相談現場ではRAG不要が多い
- プロンプト設計で成果が出る
- 3つの問で導入を判断

問1: 網羅的参照は必要か

- チェックリスト型はRAG不適
- 全観点を同時適用が必要
- ルール型はプログラム化
- 解釈型は生成AIが適切
- 観点を明示して分割実行

問2: データは上限内か

- 上限内なら全部入れるが速い
- 抽出漏れを避けやすい
- コストは数円～十数円規模
- 数百回程度なら全投入有利
- 大量時のみRAG検討

問3: パターン数は何個か

- 10～20個ならテンプレ運用
- 業界別テンプレートが効率的
- 人が選ぶ方が精度高い
- RAGは初期コストが重い
- 管理可能ならRAG不要

判断フロー

1. 網羅チェック必要→RAG不要
2. 上限内データ→全投入
3. パターン管理可能→テンプレ
4. 上記以外のみRAG検討

本日のポイント

- RAGは必要部分だけ引く道具
- 網羅チェックには不向き
- 上限内は全投入が最強
- 少数パターンはテンプレ運用
- 巨大・高頻度・多数で検討